

地域自主戦略交付金事業
主要地方道大峯山公園線
中越工区

奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料

事業評価項目一覧表

事業名	社会資本整備総合交付金	事業主体	奈良県
河川・道路名等	(主) 大峯山公園線	事業箇所	中越
評価項目及び評価内容			
<p>事業の目的及び必要性</p> <p><input type="checkbox"/> 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域観光の活性化 ・ 走行性・安全性の向上 ・ 救急医療活動、迅速な消防活動の支援 <p><input type="checkbox"/> 必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員狭小 			
<p>事業策定の経緯</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洞川集落および世界遺産大峯山への観光アクセスルート <p><input type="checkbox"/> 着手までの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成10年度事業着手 			
<p>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画時の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域観光の活性化 ・ 走行性・安全性の向上 ・ 救急医療活動、迅速な消防活動の支援 <p><input type="checkbox"/> 現時点の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B/C = 1.2 			
<p>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業進捗率：約80.4% <p><input type="checkbox"/> 執行の遅延及び原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狭隘な現道における工事、積雪による施工困難 			
<p>事業進捗の見込み</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度の完成を目標に早期の事業完了に努める。 <p><input type="checkbox"/> 進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度事業完了予定 			
<p>事業の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度の完成を目標に早期の事業完了に努める。 			
<p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関等の意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元市町村である天川村は事業に協力的 <p><input type="checkbox"/> 関連事業の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 			

平成24年度 第2回 奈良県公共事業評価監視委員会

(主)大峯山公園線(中越工区)

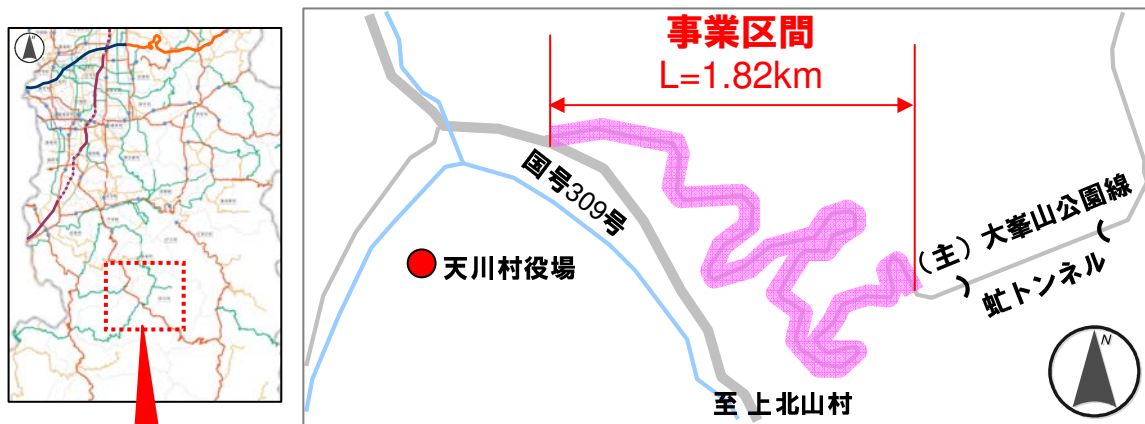
平成 24 年 1 1 月
奈良県土木部道路建設課

目次

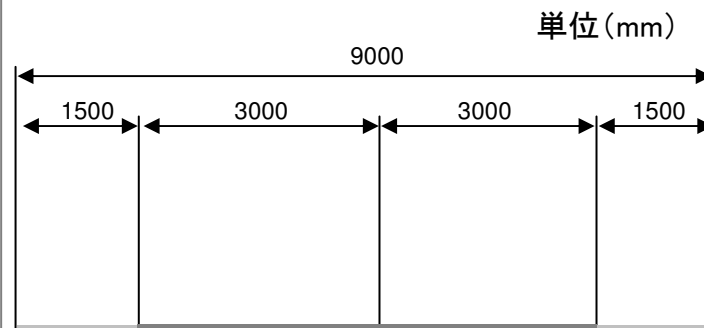
1. 事業と概要
2. 事業の背景と目的
3. 事業の経過及び進捗
4. 事業の費用対効果
5. 今後の方針(案)

1. 事業の概要

◆事業箇所



◆標準断面図



◆事業概要

路線名	主要地方道 大峯山公園線
事業区間	天川村中越地内
事業延長	1.82km
構造規格	第3種第3級
設計速度	40km/h
車線数	2車線
道路幅員	9.00m
全体事業費	23.2億円
事業化年度	平成10年度

2. 事業の背景と目的

◆地域観光の活性化

- ・(主)大峯山公園線は、国道309号から洞川温泉で有名な洞川集落及び世界遺産大峯山の登山口への唯一のアクセス道路。
⇒現道拡幅により、洞川集落・大峰山方面へのアクセス性が向上

<事業区間周辺図>



<洞川・大峯山の観光地>



大峯山寺



名水ごろごろ水

出典: 大峯山洞川温泉観光協会HP

2. 事業の背景と目的

◆走行性・安全性の向上

- ・事業区間は幅員が狭小であり、観光シーズンには洞川温泉や大峯山に向かう観光バスや乗用車の通行やすれ違いが困難。
⇒現道の拡幅により、観光バスや乗用車の走行性向上

<幅員が狭小な事業区間の現状>



<整備済み区間>

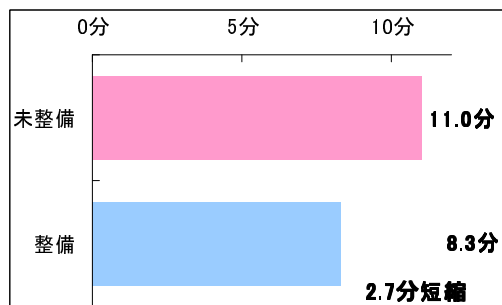


2. 事業の背景と目的

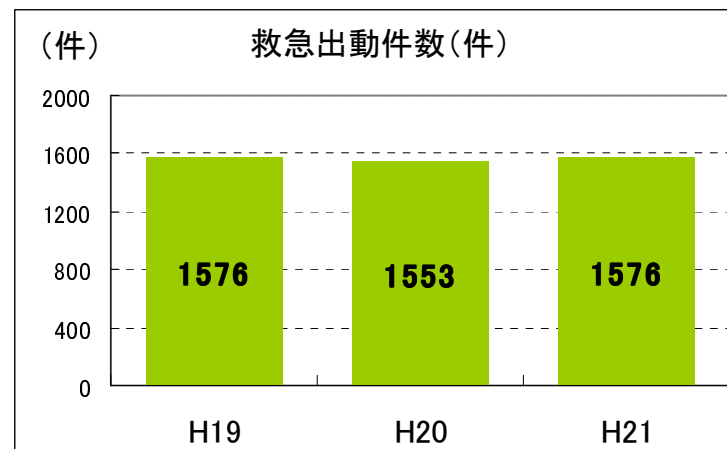
◆救急医療活動、迅速な消防活動の支援

- ・すれ違い困難が解消され、救急車や消防車の救急病院や現場への到着時間が短縮し、救急医療活動、迅速な消防活動を支援する。

<中吉野広域消防組合天川出張所から洞川地区までの所要時間の短縮>



<中吉野広域消防組合救急出動件数の推移>



資料: 消防年報

3. 事業の経過及び進捗

- ・平成10年度に事業着手。
- ・年間を通じて観光バス等の通行が多いなか、狭隘な現道を通行規制しながらの工事となり、また、冬期は積雪により工事施工困難となる期間が多いことから、時間を要した。

平成10年度 事業着手

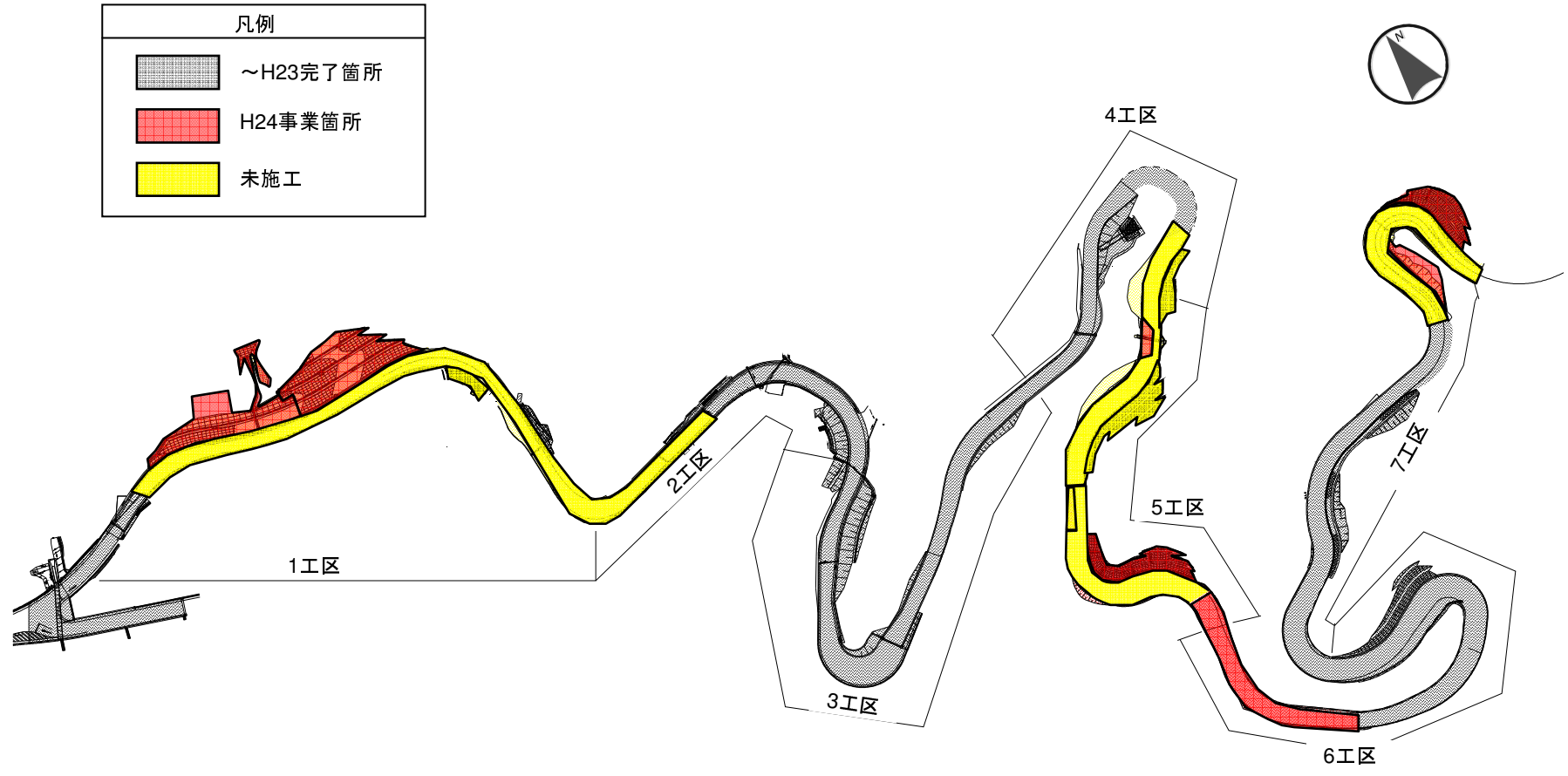
◇用地買収 進捗率100%

◇事業全体 進捗率80.4%

※平成24年9月現在

3. 事業の経過及び進捗

◆工事進捗状況



4. 事業の費用対効果

◆計画交通量と事業費

計画交通量	1,900台/日
事業費	23億円

◆費用便益分析結果

事業全体	B/C=1.2
残事業	B/C=9.6

注) B、Cは、評価時(平成24年度)の価値に換算している。

◆便益 (B) の内訳

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益
事業全体	37億円	2億円	0億円

5. 今後の方針（案）

◆方針（案）

- ・国道309号から洞川集落および大峯山登山口への唯一のルートであり、地域観光の活性化の観点から早期整備が必要。
- ・平成10年度に事業着手し、観光バスなど通しながら、狭隘な現道で工事を進めている。また、積雪により施工困難な期間もあり時間を要しているが、事業に必要な用地については全て買収を終えている。

⇒以上の視点から、事業継続が妥当と判断。




- ・引き続き事業を推進し、平成26年度の供用を目指す。

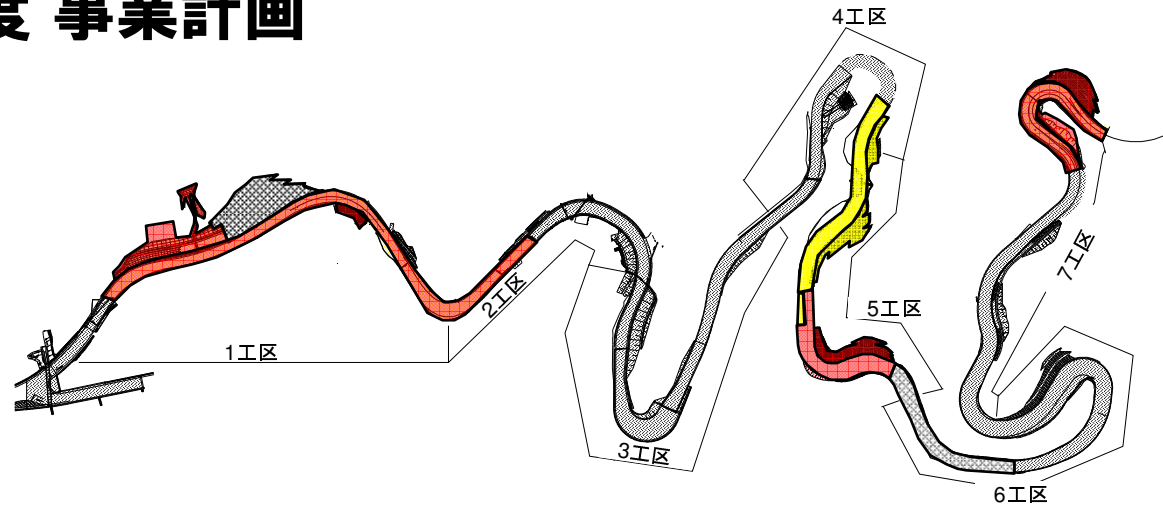
◆コスト縮減

- ・建設発生土を他事業へ流用など
縮減額 36百万円



5. 今後の方針（案）

◆平成25年度 事業計画

凡例	
	～H24完了予定箇所
	H25事業予定箇所
	未施工



◆平成26年度 事業計画

凡例	
	～H25完了予定箇所
	H26事業予定箇所

